



京機短信

KEIKI short letter

No.378

京機会(京都大学機械系同窓会)

tel. & fax. 075-383-3713

E-Mail: jimukyoku@keikikai.jp

URL: <http://www.keikikai.jp>

編集責任者 京機短信編集委員会

Motorcycles which I loved/am still loving/love forever

The motorcycles which I am loving (1)

..... 河野大輔

The motorcycles which I am loving (1)

河野大輔 (H17/2005卒)

1. バイクとの出会い

私がバイクに乗り始めたのは博士課程の学生だった頃、山路技術職員に、「京都はバイクの免許が安く取得できるから、取るだけとっておいたら？」と勧められたのがきっかけでした。「バイクを買う予定はないが、免許は取ってみるか。」と教習所に通い始めましたが、卒業検定を迎える頃にはXR100モタードを買う気満々になっていました。以来、オフロード・アドベンチャーバイクを好んで乗っています。ブレーキングの慣性力などの物理を直接的に感じつつ、その物理への介入感（操作感）を味わうことができるのが私にとってのバイクの魅力です。

2. XR100モタード (ホンダ)

XR100モタードは私が最初に購入したバイクで、今なお通勤や日常の足として活躍しています。XR250 (ホンダ) が格好よかったのですが、予算と維持費を考慮して、原付2種のXR100モタードを選びました。結果的にはこの判断は功を奏し、いつでもUターンできる軽さ・サイズと足つきの良さで、気軽な林道チャレンジ



左 タイガー800XCX
右 XR100 モタード



花背へ抜ける林道にて 2009年

が可能になりました。今はオイル交換程度ですが、マフラー交換、キャブレター調整など、改造とメンテナンスの楽しみも味わっているバイクです。2台目のKLX250（カワサキ）と2台体制になったときから、なぜ2台もバイクが必要なのかと聞かれることもしばしばですが、可愛いもので、壊れるまで乗ると思います。壊れたら自力で修理するかな...

3. タイガー800XCX（トライアンフ）

3台目に購入したバイクです。2015年のこと、ADventure'sというその名のとおりアドベンチャーバイクの雑誌を本屋で見かけ、タイガー800の恰好良さにしびれました。少し角ばった2眼のライトと、パイプフレームとエンジンガードの間にみっちり詰まったエンジンが魅力的でした。しかし、ポンと買えるお金もありませんし、そもそも大型免許を持っていません。2016年に妻が里帰り出産した際にまずは大型免許を取りに行きました。免許取得後、ウキウキ気分でトライアンフ京都に試乗に行き、それまで乗っていた単気筒とは異なる3気筒の滑らかさと、800ccの大型バイクである割には動き出してしまえば軽く感じることに驚きました。しかし、まだお金はありません。「欲しいな～」と思いながら、年刊のADventure'sを毎年買って眺めながら貯金し、機会を待ちました。

時は流れて2020年秋、貯金は目標額に足りませんが、タイガー900へのフルモデルチェンジを機に、また試乗に行きました。タイガー900は電子装備が充実されて、操作感も悪くなかったのですが、外観には全くしびれませんでした。ふと店内に残っている800を見て、型落ちで安くならないか店員に交渉したところ、トップ&パニアケースと社外マフラーがついてほぼ本体の値段でよいという回答が！ケースが欲しかった私にとっては数十万円の値引きです。800は既に結構売れて残り僅か4台とのことですが、値引きされても若干貯金が足りなかった&趣味の品としては値段が高いので悩みました。これを逃すと新車では手に入らないと決心してKLX250を売り（KLX250も可愛がっていたので、これもかなり悩みました...）、購入して今に至っています。准教授への昇任で給料が上がって貯金が加速していた、家を購入して安心してバイクを置ける場所ができた、KLX250が高く売れた、などいくつかのよいタイミングと運がありました。さすがにタイガーで林道に入る勇氣はありませんが、亀山～丹後の山道をのんびりと満喫しています。